

事務事業評価表(既存事業)

コード 5-1-4	事務事業名 大気監視事業	所管部課 環境防災部環境保全課
--------------	-----------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 市内環境の把握し、環境施策に必要な基礎資料とするため、大気環境調査を実施し、大気汚染の防止と改善を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)環境にやさしいまちづくり (施策)公害対策の推進(環2-3) (主要施策)水質・騒音・大気等環境調査の実施
	実施内容、実施方法 ・市内の測定ポイントで大気等を採取し分析する。 ・環境基準値を超過した燃料調査対象施設に対しては、改善指導を行う。	根拠法令等 ・都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 ・西東京市環境基本条例
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 測定箇所数	活動指標の考え方(定義) 主要交差点大気汚染調査(4箇所)、二酸化ちっそ測定(96箇所)燃料調査(13箇所)各1回 計113箇所
	調査結果を踏まえた指導率	改善指導した施設数/基準地を超過した燃料調査対象施設数
	成果指標名 調査達成率	成果指標の考え方(定義) 調査が確実に実施できた箇所数/調査予定箇所数
	燃料基準の遵守率	環境基準値をクリアしている箇所数/全測定箇所数

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)	千円	3,291	3,190	3,400	3,528	
	国庫支出金						
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		3,291	3,190	3,400	3,528	
	所要人員(B)	人	0.20	0.20	0.24	0.20	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,649	1,655	1,999	1,666	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	4,940	4,845	5,399	5,194	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(測定箇所数)	千円	46	45	50		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	箇所			113	113
		実績値	箇所	107	107	108	
活動指標	目標値	%			100	100	
	実績値	%	100	100	100		
成果指標	目標値	%			100	100	
	実績値	%	95	95	96		
成果指標	目標値	%			100	100	
	実績値	%	100	100	100		

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等における類似事業	大気測定は、東京都(都内82箇所、市内3箇所)において、365日24時間測定を実施している。また、区市も独自に調査を実施している。
	運営上の制約条件・外部要因等	燃料調査は東京都環境確保条例に基づき実施している。他は東京都の環境基本計画に基づき実施。

コード 5-1-4	事務事業名 大気監視事業	所管部課 環境防災部環境保全課
--------------	-----------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	市内主要交差点4箇所で大気環境を測定。調査実施4/4回 市内96箇所フィルターバッチによる簡易測定法で、大気環境(二酸化ちっそ)を測定。調査実施95(うち1箇所紛失)/96回。今後、紛失防止に努める。 市内13箇所工場等の使用する燃料(重油)を測定。調査実施9/13回。調査予定13箇所のうち廃止分3箇所予備1箇所。今後、調査箇所数減を検討していく。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	基準以下であっても値が上昇傾向にあり、その原因を追究する必要がある。また、大気汚染が大幅に改善することはありえないので、今後も継続的に大気環境調査を行う必要がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	専門の民間業者を活用し、限られた財源を有効に活用して実施している。
	公平性 <input checked="" type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	全市民に影響する市内の大気環境を調査しているので、公平である。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	調査結果の変化を注視しつつ、データの蓄積を行っていくことが必要なので、今後も継続実施していく。

17年度における改善点	調査箇所は、国や都の調査と重複しないよう設定しており、17年度は調査箇所の見直しは行わない。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
- 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
- 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
- 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
- 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
- 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。